

Cisco 1000、1600、2500、2600、および 3600 シリーズ ルータの補助ポート、コンソールポートおよびアダプタのピン割り当て

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[補助およびコンソールポート](#)

[ロールオーバーケーブルを識別して下さい](#)

[PC へのコンソールポート接続](#)

[DB-9 アダプタとのコンソールポート シグナリングおよびケーブル接続](#)

[DB-25 アダプタとのコンソールポート シグナリングおよびケーブル接続](#)

[モデムへの補助ポート接続](#)

[DB-25 アダプタを使用する補助ポート シグナリングおよびケーブル接続](#)

[代替ターミナルおよびモデム接続](#)

[関連情報](#)

[はじめに](#)

この資料は Cisco 1000、1600、2500、2600、および 3600 シリーズ ルータのための異なるポートおよびアダプタ pinouts を説明したものです。

[前提条件](#)

[要件](#)

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

[使用するコンポーネント](#)

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco 1000、1600、2500、2600、および 3600 シリーズ ルータ

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

補助およびコンソールポート

コンソールおよび補助ポート on Cisco IOS® ルータは非同期シリアルポートです。コンソールポートおよび補助ポートはデータ端末装置 (DTE) で設定されます。Cisco 1000 に関しては、1600、2500、2600、および 3600 シリーズ ルータ、コンソールおよび補助ポート両方の使用 RJ 45 コネクタ。アダプタは PC 端末機、モデム、または他の外部コミュニケーション 機器への接続に利用できます。

この表は RJ 45 コネクタ用のコンソールポートピン配列を示したものです:

コンソールポート (DTE)		
ピン 1	信号	入出力
1	-	-
2	DTR	出力
3	TxD	出力
4	GND	-
5	GND	-
6	RxD	入力
7	DSR	入力
8	-	-

¹記載されていないピンは接続されません。

この表は RJ 45 コネクタの補助ポート ピン配列を示したものです:

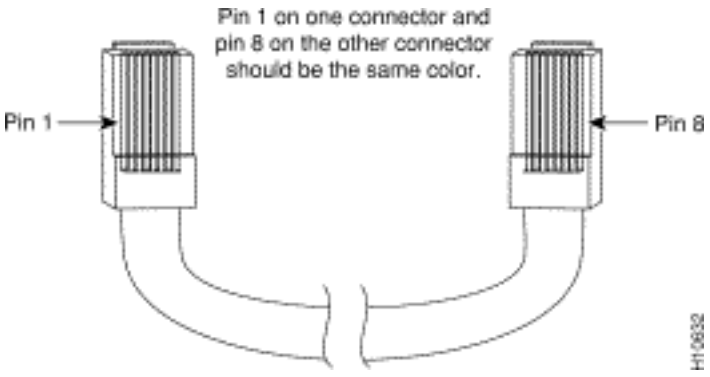
補助ポート (DTE)		
ピン 2	電波状態表示	入出力
1	RTS	出力
2	DTR	出力
3	TXD	出力
4	GND	-
5	GND	-
6	RXD	入力
7	DSR	入力
8	CTS	入力

²ここで参照されていないピンは接続されません。

[ロールオーバーケーブルを識別して下さい](#)

ロールオーバーケーブルを識別するために、ケーブルの 2 つのモジュラ終わりを比較して下さい。背部でタブと、隣り合わせのハンドのケーブルを保持して下さい。左コネクタの外部のピンに

接続されるネットワーク（ピンは右のコネクタ（8）ピンの外部のピンと1）同じカラーである必要があります。on Cisco ケーブルは、ピン 11 つのコネクタで白く、ピン 8 は他のコネクタで白いです。



この表は RJ 45 によって転送される（コンソール）ケーブルピン配列を示したものです：

信号	ピン留め	ピン留め	信号
-	1	8	-
-	2	7	-
-	3	6	-
-	4	5	-
-	5	4	-
-	6	3	-
-	7	2	-
-	8	1	-

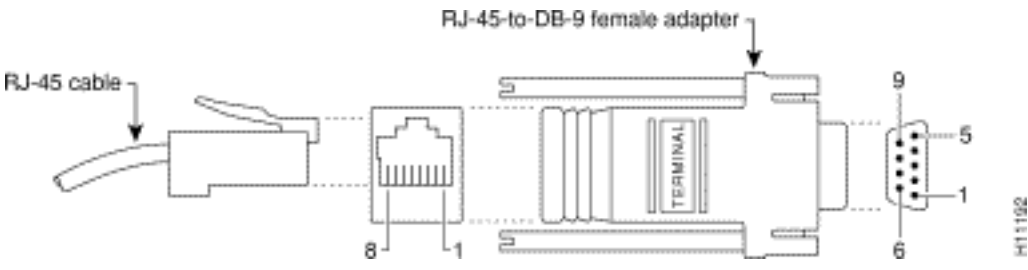
PC へのコンソールポート接続

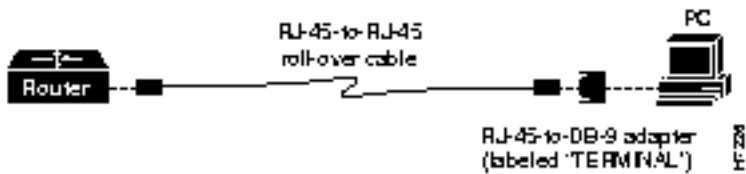
PC 端末機をコンソールポートに接続するために、RJ-45-to-RJ-45 ロールオーバーケーブルを、[RJ-45-to-DB-25 メス型DCEアダプタ](#)か RJ-45-to-DB-9 メス型 DTE アダプタ使用すれば（「ターミナル」と分類される）。

コンソールポートのためのデフォルトのパラメータは次のとおりです：

- 9600 ボー
- 8 データ ビット
- 生成されるか、またはチェックされる No parity
- 1 ストップ ビット
- フロー制御なし

DB-9 アダプタとのコンソールポート シグナリングおよびケーブル接続



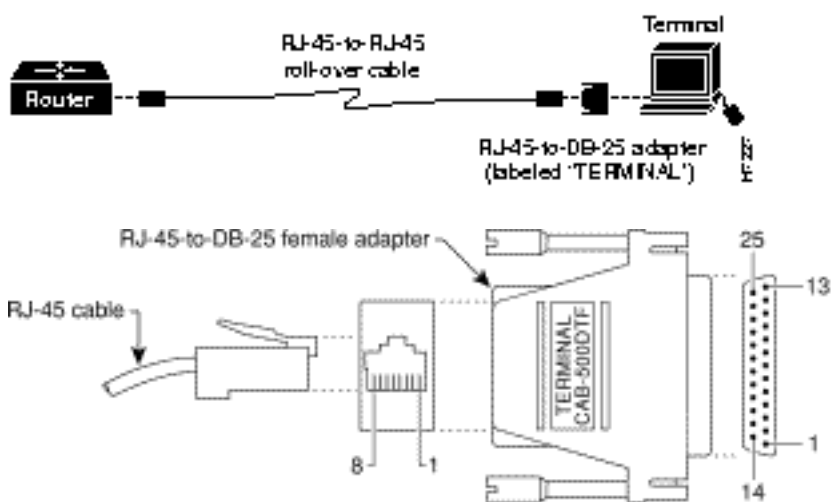


次の表は DB-9 接続のためのピン配列説明を示したものです:

コンソールポート (DTE)	RJ-45-to-RJ-45 ロールオーバーケーブル		RJ-45-to-DB-9 ターミナルアダプタ	コンソール デバイス
電波状態表示	RJ-45 ピン	RJ-45 ピン	DB-9 ピン	電波状態 表示
RTS	1 ³	8	8	CTS
DTR	2	7	6	DSR
TxD	3	6	2	RxD
GND	4	5	5	GND
GND	5	4	5	GND
RxD	6	3	3	TxD
DSR	7	2	4	DTR
CTS	8	1	7	RTS

³Pin 1 はピン 8.に内部で接続されます。

DB-25 アダプタとのコンソールポート シグナリングおよびケーブル接続



次の表は DB-25 接続のためのピン配列説明を示したものです:

コンソールポート (DTE) ⁴	RJ-45-to-RJ-45 ロールオーバーケーブル	RJ-45-to-DB-25 ターミナルアダプタ	コンソール デバイス

電波状態表示	RJ-45 ピン	RJ-45 ピン	DB-25 ピン	電波状態表示
RTS	1 ⁵	8	5	CTS
DTR	2	7	6	DSR
TxD	3	6	3	RxD
GND	4	5	7	GND
GND	5	4	7	GND
RxD	6	3	2	TxD
DSR	7	2	20	DTR
CTS	8	1	4	RTS

4 同じ配線をコンソールと補助ポートの接続に使用できます。

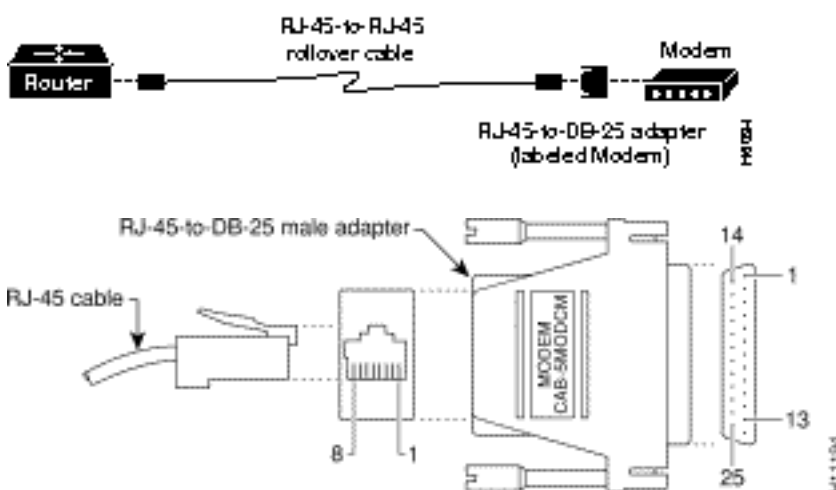
⁵Pin 1 はピン 8.に内部で接続されます。

モデムへの補助ポート接続

PC端末機をルータに接続するために、RJ-45-to-RJ-45 ロールオーバーケーブルを RJ-45-to-DB-25 メス型DCEアダプタか RJ-45-to-DB-9 メス型 DTE アダプタ使用すれば（「ターミナル」と分類される）。このセクションは DB-9 および DB-25 両方のためのピン配列説明を接続リストします。

モデムを補助ポートに接続するために、RJ-45-to-RJ-45 ロールオーバーケーブルおよび RJ-45-to-DB-25 オス型DCEアダプタを使用して下さい（「[MODEM](#)」と分類される）。

DB-25 アダプタを使用する補助ポート シグナリングおよびケーブル接続



モデム接続のためのピン配列説明はここにあります:

補助ポート (DTE)	RJ-45-to-RJ-45 ロールオーバーケーブル	RJ-45-to-DB-25 モデムアダプタ	モデム
------------------	-------------------------------	---------------------------	-----

信号	RJ-45 ピン	RJ-45 ピン	DB-25 ピン	信号
RTS	1 ⁶	8	4	RTS
DTR	2	7	20	DTR
TxD	3	6	3	TxD
GND	4	5	7	GND
GND	5	4	7	GND
RxD	6	3	2	RxD
DSR	7	2	8	DCD
CTS	8	1	5	CTS

6 ピン 1 は内部でピン 8 に接続されています。

代替ターミナルおよびモデム接続

Cisco ポート接続	RJ 45 ケーブルタイプ	アダプタ
PC へのコンソールポート	ストレート	DCE、DB-9 メス型
ターミナルへのコンソールポート	ストレート	DCE、DB-25 メス型
モデムへの補助ポート	ロールオーバー ⁷	DCE ⁸ 、DB-25、オス型
-	ストレート	DTE ⁸ 、DB-25、オス型

7 オクタール ケーブルまたは RJ-45 ブレークアウト ケーブルは、ロールオーバー ケーブルと同等です。

8 ピン 6 を引き抜き、これをピン 8 の位置に置いて、DB-25 アダプタを変更します。

関連情報

- [コンソールおよび補助ポートに関するケーブル接続ガイド](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)